

平成25年12月26日(木)

郷志

明日から冬休みに入ります。大掃除やお正月など一年の中でも特別な意味をもつ休みでもあります。体調を整えて楽しい休みにしてください。

冬休みのくらし

【有意義な冬休みを過ごすために】

どのような冬休みにしたいか、また、家での約束について、ご家庭でお子さんと一緒に話し合ってくださいと思っています。長期の休みはくらしを見つめるよい機会です。

1. めあてを守る

決めためあてをやり遂げることによって、その達成感が自信につながると思います。めあてをやり遂げることは、リズムある生活や家族の一員としての役割を果たすことにもつながると思います。めあてを意識して計画的に生活できると良いと思います。

2. 事件事故防止

冬休み、特に年末年始は出かけることが多くなるため、交通事故、雪や火遊びによる事故など心配なことがたくさんあります。

子どもの命を守るために、信号機のない交差点や歩道のない狭い道路、踏切や用水路、工事現場などの危険場所、遊びに行くときの約束、ヘルメット着用や自転車の乗り方などについて、確認してください。うす暗くなってくると事故が起こりやすくなります。今年度、無灯火で自転車に乗り塾に通う、遮断機の下りた踏切に進入するなど危険な行為があり指導しました。

3. 非行防止

お年玉など高額なお金が入る冬休みは、トラブルが起きやすい時期でもあります。お金の使途について、本人任せではなく、保護者の方で見届けてもらいたいと思います。

興味本位でお店やゲームセンター、カラオケなどに出かけ、事件に巻き込まれることも考えられます。いろいろな誘惑に負けて、犯罪に関わることも考えられます。必要のない場所に出かけないことも話していただくと良いかと思います。

また、子ども同士のお金や物の貸し借りや交換もトラブルにつながる恐れがあります。今年度もいくつかのトラブルがあり指導しました。自分のものをしっかりと管理することや大切なものや大きなお金を持ち歩かないことなど予防策も教えてください。お子さんの持ち物にも注意をして見届けをよろしくお願いします。

※冬休み前集会では、長期休みの合い言葉『か・き・く・け・こ』と共に、お世話になってはいけない三つの車“パトカー・救急車・消防自動車”の話をしました。

<別紙冬休みのくらしをいつも目に入るところに置き、定期的にふり返りができるようお願いします。また、裏面の東濃の生徒指導基準も参考にしてください。>